

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。  
 下に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	かわさき wai (ワイ) の会
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 〔 〕
助成事業名	認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

### 「認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会」とは

平成28年10月に川崎市主催の「認知症あんしん生活実践塾」で学習を終えた認知症の家族を持つ有志が会を立ち上げ、講師を招いて認知症介護の勉強会を行っています。4つのケアを学び実践することにより認知症の症状を軽くし、それにより認知症の本人が自立性を取り戻し、また介護する家族の負担を軽減することができます。またその実践を介護する仲間や地域に伝えることも目的としています。



### 2021年度の活動

「認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会」では、4つのケア（水分・栄養・運動・便通）および専門分野に関し先生方による講義、事例検討と介護指導、認知症介護に関する情報交換を行ってきました。

※新型コロナウイルス感染対応、定例会は現地とオンライン会議のハイブリッド型にて開催

5/20 会場とオンライン会議 [参加者13名]  
事例検討、他 国際医療福祉大学大学院 准教授 小平めぐみ先生

8/4 会場とオンライン会議 [参加者13名]  
講義「活動性(パワーリハ)と認知症について」小平めぐみ先生  
専門領域講義「パワーリハビリテーション・基礎」  
リハコンテンツ(株) 代表取締役社長 山下哲司さん  
事例検討、他

11/9 会場とオンライン会議 [参加者13名]  
講義「認知症あんしん生活実践塾2021 家族で治そう認知症 in 秋田報告」、事例検討、他 小平めぐみ先生  
情報交換「コロナ禍で認知症と共に生きる」 会員

2/8 オンライン会議 ※コロナ感染者数増大により会場開催は急遽中止 [参加者11名]  
専門領域講義「認知症とパワーリハビリテーション第二弾・自宅でできるパワーリハ」  
リハコンテンツ(株) 代表取締役社長 山下哲司さん  
事例検討、他 小平めぐみ先生

3/28 交流会 会場 ※オンライン会議欠席者フォロー [参加者10名]  
2/8「認知症とパワーリハビリテーション第二弾・自宅でできるパワーリハ」復習  
情報交換、他



### 今後について

引続き当年度と同様に継続していきます。今年度は事務局連絡先(メールアドレスのみ記載)にプラスして問合せ専用の電話を設置、スマホですぐにアクセスできるようにQRコード記載などを工夫。会の広報や会員を増やすための「会のホームページ充実」などに取組む予定です。一昨年より実施できていない「公開講座の開催」を通し、地域の方々にも参加いただくことで介護負担の軽減を目指してまいります。